

# 2023年度活動・事業報告

(2023年4月1日～2024年3月31日)

## 《8つの柱の活動・事業の振り返り(まとめ)》

### 第1の柱 — 会員組織の拡大と会員活動を活発に

1. ボランティア説明会を定期的に開催し、協力会員の増加につながりました。

(1) 協力会員は年間20人の入会を目指しましたが、今年度は16人の入会にとどまりました。

(2) 理事の協力にてボランティア説明会は毎月開催できましたが、募集方法など検討する必要があります。

(3) 利用会員は計画通りにいかず、17人の入会となっています。困りごとに対する相談は常にありますので、お応えできる体制をつくることは急務です。

(4) 入会実績

| No. | 種別           | 2022年度<br>入会数 | 2023年度<br>入会数 | 2022年度<br>期末在籍数 | 2023年度<br>期末在籍数 |
|-----|--------------|---------------|---------------|-----------------|-----------------|
| 1   | ふれあい会員(利用会員) | 20            | 17            | 174             | 149             |
| 2   | 正会員(協力会員)    | 16            | 16            | 110             | 112             |
| 3   | 賛助会員         | 0             | 0             | 16              | 17              |
| 4   | 合計           | 36            | 33            | 300             | 278             |

2. 新型コロナウイルスが5月に感染症法上の5類に移行となったため、今年度は様々な会員活動を企画し、会員参加の機会を作ることができました。

(1) 常盤平地域居場所づくり実行委員会と松戸市地域共生課共催の「まつど DE つながるステーション IN ときわ平」に参加し、ふれあいネットまつど・みんなんちを地域の方々に知ってもらう良い機会となりました。

(2)地域多世代交流イベントみんなち広場は春・秋年間2回開催し、松戸市内の障がい者団体・地域包括・事業所などと交流することができました。運営のお手伝い・ボランティアとして会員交流と親睦を図ることができました。

・会員の中からも手芸・小物など特技を生かした出店があり、親睦が深まりました。

・コンサートは、マリンバ・サクソ・ギター・ハーモニカなど普段ふれることができない演奏を楽しんでいただくことができました。

(3)お誕生日会は隔月開催として、1年間開催でき、利用会員・協力会員の交流の場となっています。

|                                  | 開催日                   | 参加人数             |
|----------------------------------|-----------------------|------------------|
| まつど DE つながるステーション INときわ平に出店      | 4月                    | ボランティア13・来場者数50  |
|                                  | 1月                    | ボランティア9・来場者数200  |
|                                  | 3月                    | ボランティア9・来場者数200  |
| 地域多世代交流イベントみんなち広場<br>～マルシェ&コンサート | 第3回 6月                | ボランティア25・来場者数100 |
|                                  | 第4回 10月               | ボランティア27・来場者数100 |
| ふれあい敬老会                          | 9月                    | 30               |
| ふれあい新年会2024                      | 1月                    | 27               |
| お誕生日会                            | 隔月開催<br>5・7・9・11・1・3月 | 32               |
| 合計                               |                       | 172              |

## 第2の柱 - たすけあい活動、運営への会員参加

### たすけあい活動(有償ボランティア)は昨年とほぼ同じ時間数に

- (1)ふれあいサービスは利用人数は前年比104%となっております。
- (2)生活援助(調理・掃除など)の依頼が来てもお願いできる協力者が少なく新規を受けることが難しい現状です。
- (3)地域包括支援センター・ケアマネージャーなどからふれあいサービスの利用の問合せが常にありますが、協力者の活動日・時間の調整をにつつつ面談をしています。
- (4)移動サービスでは福祉車両の希望の方に対しての朝夕の送迎が対応できない日があります。

(5)ふれあいサービス

| 種類          |          | 2022実績 | 2023実績 | 前年対比 |
|-------------|----------|--------|--------|------|
| 利用者数<br>(人) | 移動サービス   | 591    | 624    | 105% |
|             | 生活援助サービス | 126    | 122    | 96%  |
|             | 合計       | 717    | 746    | 104% |
| 協力者数<br>(人) | 移動サービス   | 238    | 236    | 99%  |
|             | 生活援助サービス | 99     | 103    | 104% |
|             | 合計       | 337    | 339    | 100% |
| 時間数         | 移動サービス   | 2496   | 2650   | 106% |
|             | 生活援助サービス | 326    | 324    | 99%  |
|             | 合計       | 2822   | 2974   | 105% |

**第3の柱 - 制度サービス(在宅)は包括的視点の強化**

- (1)居宅介護支援—①在籍ケアマネジャーは通年5人体制での活動となり、担当件数は平均170件で昨年と変わりませんでした。要介護の割合を増やすことができ、112%となりました。
- ②週1回の連絡調整会議をもち事業所内の情報共有ができました。
- ③各人が主任ケアマネ研修・更新研修などに積極的に参加することができました。
- ④地域ケア会議・認知症短期集中チーム会議・他事業所との事例検討会などに参加することができました。
- (2)訪問介護—①月200時間の提供を目標に活動しましたが、月平均151時間にとどまりました。
- ②月1回研修会も定期的で開催し、ヘルパー同士の意見交換などができました。
- ③12月から移動支援(居宅介護)を再開しました。
- (3)(障害福祉)計画相談支援—担当者数を適正規模に抑えて現状維持を目指しました。  
(制度サービス)通所を除く

| 種別     | 提供時間数  |        |      | 利用人数   |        |      |
|--------|--------|--------|------|--------|--------|------|
|        | 2022実績 | 2023実績 | 前年対比 | 2022実績 | 2023実績 | 前年対比 |
| 居宅介護支援 |        |        |      | 1805   | 2025   | 112% |
| 訪問介護   | 1738   | 1820   | 102% | 293    | 286    | 98%  |
| 相談支援   |        |        |      | 358    | 301    | 86%  |
| 合計     | 1738   | 1820   | 102% | 2456   | 2612   | 106% |

## 第4の柱 — みんなんちは地域交流の拠点に

### 1. みんなんち

- (1) コロナ緩和のため1年通して予約なし人数制限なしで誰でも参加できるようになりました。
- (2) 予約をなくしたため、予想以上に参加者が増えた講座もありますが、その逆の場合もあります。
- (3) 4月から誰でも立ち寄れることのできる「みんなんちカフェ」をオープンしましたが、周知することができず、参加者が少ない状況でした。
- (4) 常時2人体制でみんなんちスタッフを配置したかったのですが、一人当番になってしまうこともありました。

| No. | 項目               | 利用人数   |        | 前年対比 |
|-----|------------------|--------|--------|------|
|     |                  | 2022年度 | 2023年度 |      |
| 1   | うたごえ(月1回)        | 21     | —      | —    |
| 2   | ピアノで歌おう(月1回)     | 90     | 172    | 191% |
| 3   | 手芸(月1回)          | 55     | 38     | 69%  |
| 4   | オカリナ(月1回)        | 94     | 93     | 99%  |
| 5   | 絵手紙(月1回)         | 78     | 78     | 100% |
| 6   | 映画鑑賞(隔月1回)       | 32     | 28     | 80%  |
| 7   | カンタン! スマホ教室(月1回) | 40     | 40     | 100% |
| 8   | 健康麻雀(月1回)        | 50     | 51     | 100% |
|     | 合計               | 460    | 500    | 108% |

### 2. みんなんちデイ

今年度の新しい取り組みとして第5火曜日を「みんなんちデイ」として、楽しくタメになる企画を行いました。

| 開催日    | 内容  | 参加人数 |
|--------|---|------|
| 5月30日  | 勉強会「エンディングノートを知ろう」<br>講師: 喜島セツさん                          | 13   |
| 8月29日  | ミニミニコンサート<br>出演: シリウス ii                                  | 30   |
| 10月31日 | 秋の文化祭   | 20   |
|        | 勉強会「高次脳機能障害を知ろう」<br>講師: 旭神経内科リハビリテーション病院<br>安島明子さん・齋藤翔太さん | 16   |
| 1月31日  | 勉強会「悪徳商法・詐欺に気を付けよう」<br>松戸市消費生活センター 金丸さん                   | 6    |

## 第5の柱 — デイサービスるんるんの活動を充実させます

年間を通し、週5日営業でき利用者にとって居心地の良いデイサービスとなっています。

- (1)稼働利用数を目標30人、1日の利用者数12人を目指しましたが、月平均利用者数は28人とどまり1日平均8.7人の利用者となっています。
- (2)損益集計表の作成により経費を明確化し経費の削減を図りました。
- (3)常勤職員2人を配置し、安定的に取り組むことができました。
- (4)毎月のケア会議により、利用者お一人おひとりの身体・精神状態を観察・把握し、情報共有を徹底することができました。
- (5)月平均の利用者数は28人でなんとか今の職員で対応していましたが、職員の増加がないので、安心・安全なデイサービスを維持することが難しい状況です。職員の増員が急務です。

利用者数( )は月平均

|               | 登録人数        |               | 利用回数          |                 | 営業日数        |               |
|---------------|-------------|---------------|---------------|-----------------|-------------|---------------|
|               | 2022        | 2023          | 2022          | 2023            | 2022        | 2023          |
| 上半期<br>4月～9月  | 154         | 161<br>(26.8) | 1079          | 1094<br>(182.3) | 105         | 131<br>(21.8) |
| 下半期<br>10月～3月 | 147         | 171<br>(28.5) | 966           | 1131<br>(188.5) | 114         | 126<br>(21.0) |
| 合計            | 301<br>(25) | 332<br>(28)   | 2045<br>(170) | 2225<br>(185)   | 219<br>(18) | 257<br>(21)   |

## 第6の柱 — 教育・研修活動の充実強化を図ります

### 1. 福祉有償運送運転者講習会を5回開催しました。

- (1)市民を対象に、地域活動担い手研修会(移動サービス・福祉有償運送運転者研修)を5回開催しました。昨年度に引き続き毎回1日研修とし、57人養成することができました。うち4人は会員です。
- (2)松戸市福祉有償運送運営協議会の役員として、福祉有償運送事業に協力できました。

### 2. 会員を対象に移動サービス運転者研修会を2回開催しました

- (1)今年度1回目は7/2に緊急時マニュアルについての説明とドライバー同士のグループワークを行い意見交換することができました。2回目は11/12に路上での運転チェックと高齢者疑似体験を行いました。

---

## 第7の柱 -東日本大震災支援活動

### 1. 被災者が主体となったサロンの運営が軌道に(宮城県東松島市)

- (1)宮城県東松島市被災者支援・交流活動として、牛網地区においてコミュニティサロン「東松島みんなんちクラブ」にて、サロン、百歳体操や裂き織り教室、を毎月開催(延べ925人参加)、地域コミュニティ再生に役立つ活動になっています。ふれあいネットまつどからは、運営の協力としてチラシ作成等行いました。
- (2)2019年に東松島みんなんちクラブの皆さんと一泊旅行に行っており、直接お会いして交流する機会がありませんでした。今年度はふれあいネットまつどの会員とその家族を対象に「みんなんちクラブ視察・交流会1泊2日のツアー」を企画し、みんなんちクラブのサロン活動(第4金曜日開催)のお茶会に参加と東松島市・石巻市の視察を行いました。

### 2. 多彩な「東松島みんなんちクラブ」の活動

|                          | 回数  | 参加人数 |
|--------------------------|-----|------|
| みんなんちクラブ(サロン活動(毎月第4金曜日)) | 12回 | 143  |
| みんなんちピンポンクラブ(隔週月曜日)      | 23回 | 174  |
| 東松島100歳体操(毎週火曜日)         | 51回 | 427  |
| 料理教室(不定期)                | 5回  | 41   |
| 裂き織(月1回)                 | 12回 | 59   |
| その他の催し                   | 6回  | 81   |
| 延べ参加人数                   |     | 925  |

---

## 第8の柱 役員体制・事務局機能の強化と財政基盤の確立

### 1. 役員体制と事務局機能の強化

- (1) スタッフ各自が自分の仕事に数字で責任を持てるよう、月1回のスタッフ会で各部門ごとの情報共有をしました。
- (2) 1年間の個人計画に基づき、年度末に自己評価し、次年度の目標に向けて業務を遂行しました。
- (3) 事務局に新しい人材を投入することはできませんでしたが、非常勤ボランティアの協力を得ることができ事務の負担を軽減できました。
- (4) 今年度も役員とスタッフが協力して年間行事を担い、企画から運営していく体制を進めることができました。
- (5) 役員会(理事会)を毎月開催し、決定しきれなかった案件について随時、三役会を開催するという体制となりました。

### 2. 残念ながら3年連続の赤字決算となりました。

- (1) 長年の助成金・補助金の依存構造については改善が進みつつありますが、収益事業の拡大を目指して着手した通所介護が87%、訪問介護も92%と、ともに予算を達成することができませんでした。

### 3. 大勢の方々に寄附のご協力をいただきました。

- (1) 毎年行っているふれあい寄付金運動は年々会員の皆様にも浸透し今年度は過去最高の202人の会員・会員外の方からご寄附いただきました。認定NPOとしてこれだけの支援を受けていることに身のひきしまる思いです。ご寄附は会の活動に大切にさせていただきます。
  - (2) 令和6年1月1日に発生した能登半島地震について会員から「何かしよう」という声上がり、いち早く1月8日から募金活動を始めました。支援金として2回に渡り、市民福祉団体全国協議会を通じ、現地に送りました。会員をふくめ、関係者から120人・募金箱へも多数の募金を頂きました。
-